■3月22日お昼ごろ東京、神田神保町の青林堂に『バルタン星人しませんか？』とマジメな顔でたずねて来た若い男の人があった、バルさんはだいたいマジメで低い声で話をされた。バ『きのうは原宿の歩行者天国でバルタンしちゃった、ボク家が地方なもので、一回トーキョーでバルタンしたいと思って……。』

記者のディスコなんか行ってすればウケルよと言う提案には、バ『アレはイケません、ディスコは若者をダメにします！』と、なかなかムズかしいバルさん、グァンバッテほしい。

性悪猫

やまだ紫

めんこい
ですろ?

……
……

……
めんこくない?

…
ん?

可愛いですろう
——と
おたずね申したの

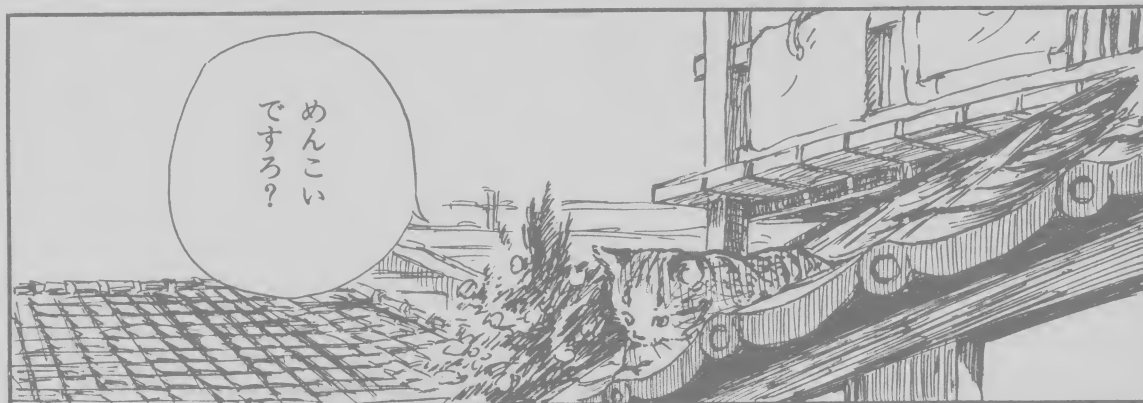
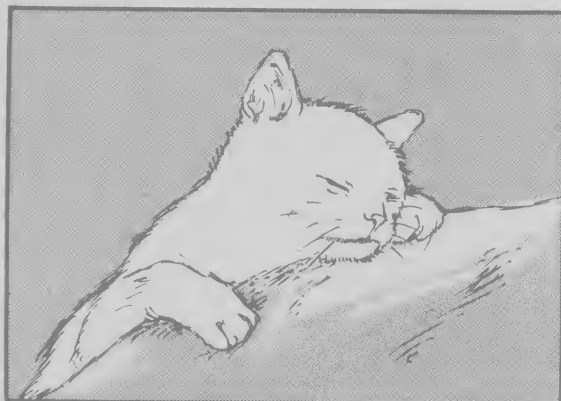
…あ

——
そういうの
考えたこと
無かった

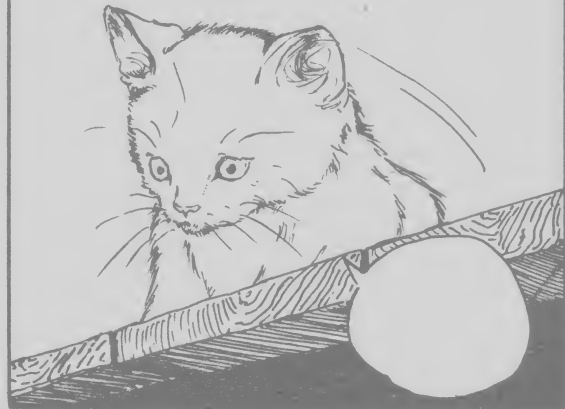
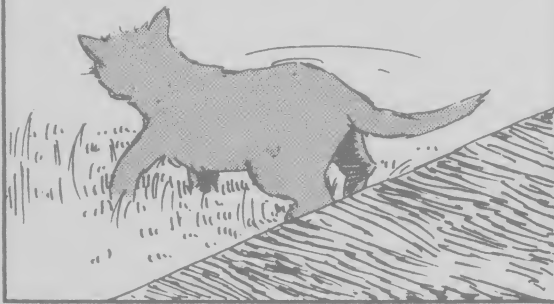
考える
もんでは
ねのでしょう
？
感ずる
もんですか

おまいは
子を産じた試しが
おありなの？

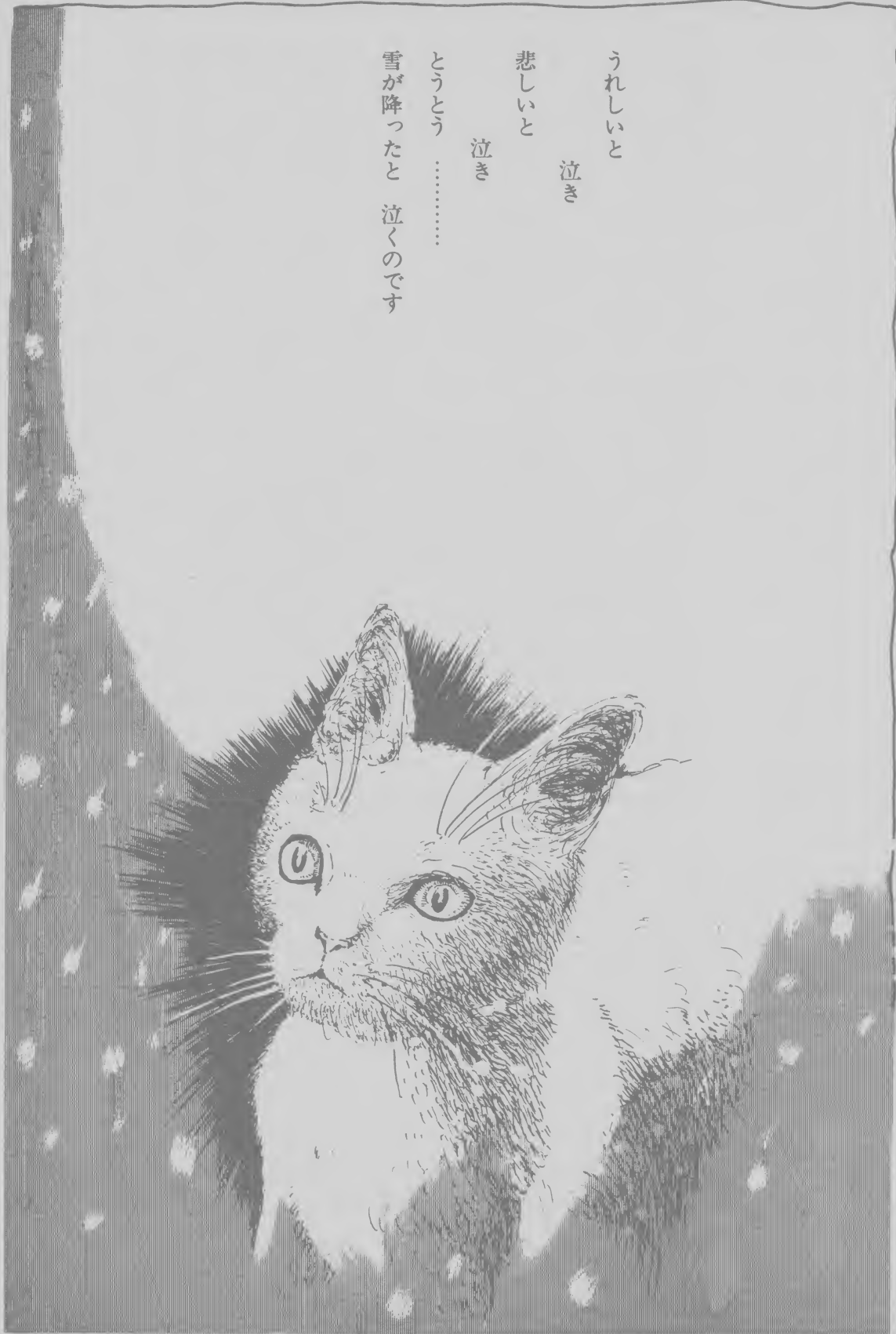
わたし？

まだ

わたしはね
子を産むとき
「母親のわたし」も
一緒に産んだよ

子を育てつ
「母親のわたし」も
育てるよ

これが
なまなかな
ことでないから

子が愛しいか
どうなんだか
見極めている
ひまがない

あれを産んで
最初の冬

最初の雪が…
舞い散る
土埃を掴まえて
やけみたいに
バラバラと…

うれしいと
　　　泣き
悲しいと
　　　泣き
とうとう　…………
雪が降ったと　泣くのです

うまれたての
わたしらの見るものは
あれも　これも
驚きで
やがて愛しい

ほら――
山吹が咲いて
すごいじゃないか
あの黄色